

平成 28 年 5 月 28 日

さいたま市議会高校生議会

議長 末 永 駿 也 様

提出者 さいたま市議会高校生議会保健福祉委員会

委員長 小山 兼央

副委員長 内山 雄登

小淵 圭悟

高橋 慶成

田上 彩

高橋 周玖

並木 玲南

楠本 莉子

六郷 拓人

江口 琴音

成澤 千紘

高橋 晃介

議案の提出について

下記議案を、さいたま市議会高校生議会実施要領の規定により提出します。

記

委員会提出議案第 4 号

いまでも未来も住みやすいまち さいたま市を目指すための意見書

提 案 内 容

私たちは、市内の高等学校に通学する高校生の視点から、高校生活の多くを過ごす「さいたま市」の将来に向けて、保健福祉委員会の所管事項に関し、以下の項目について提案するものです。

記

- 1 女性の社会進出に対応し、安心して働ける社会の実現のため、保育園の増設を目指します。
 - ① 保育士になろうと希望し、実際に保育士になれたとしても、賃金の安さなどで離職、また、保育士の職そのものが敬遠される現状に対し、保育士の賃金、待遇の改善のため、国や市からの補助を増やすことを要望します。
 - ② 保育園の送迎などの保護者負担を減らすため、保育園と職場を一体化した施設を増やすことを提案します。
 - ③ 行事が多彩で楽しく、いろいろな人との関わりを持てる保育園を創設することを目指します。
- 2 動物愛護センターや保健所にいる動物が殺処分されないよう、保健所等で最期までペットの面倒を見る体制及びペットの販売に規制をかけるなど、ペットを飼うことに対して、責任を持つよう意識改革をすることを提案します。
- 3 ネットパトロールをするなど、SNS上で悩みを抱えている人を探し出し、そのような人たちの心のケアを行えるよう相談・支援体制を充実させることを提案します。

以上、さいたま市議会高校生議会実施要領の規定により意見書を提出いたします。

平成28年5月28日提出